

弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>令和2年度スタート
チーム弓削高でがんばります！

令和2年度新入生入学

4月9日(木)に令和2年度入学式を実施しました。今年度は新入生30名が入学し、真新しい制服に身を包み、緊張した面持ちで式に臨んでいました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、短縮した形での実施になりましたが、弓削高校での新たな生活に向けて、良いスタートが切れたと思います。



30名の新入生を迎え、本校は全校生徒87名で令和2年度をスタートさせました。新型コロナウイルスの流行による緊急事態宣言の発令や、新年度早々の臨時休業など、今後も予測不可能な事態が多く起こることが予想されます。そんなときこそ、生徒、教職員、保護者が連携し、さらに地域の方々と協力し合って、このピンチを乗り越えていきたいと思います。

休業中も学習支援を行っています！

愛媛県の県立学校では、4月20日から5月8日まで臨時休業を行いました。本校では、生徒が登校した17日の時点で、可能な限り課題を準備し、休業

中の学習支援を行ってきました。

本校では課題の配布だけでなく、ClassiというICTを活用した学習サービスを利用して、生徒とコミュニケーションを図ったり、授業の動画配信を行ったりしています。

様々な形で学習支援を行っていますが、教員の本分は授業です。学校再開後は全力で、生徒たちとともに教育活動を行っていきます！

チーム

島親募集！

チームで休日に食事等の面倒を見ていただける皆さまを募集します

連絡先 ☎ 77-2021

弓削高校 教頭 渡邊

弓削商船高等専門学校

<http://www.yuge.ac.jp/>

学生寄宿舎(女子棟)が完成



3月17日(火)、本校に新しく学生寄宿舎(女子棟)が完成しました。新女子棟は定員88名、鉄筋コンクリート3階建て、延べ床面積1,585平方メートルです。また、空調完備の居室、共用スペースとして各階捕食室やラーニングcommonsなどを備え、寮生の充実した学生生活を応援します。

特に開放的な学習スペースである『ラーニングcommons』には、学生の主体的な学びを促進するため、グループワークに適した可動式の机やホワイトボードなどを多数設置し、教育寮としての効果を発揮できるよう配慮しました。



新型コロナウイルスの影響で4月からの入寮は延期になりましたが、今年度から新棟での寮生活が始まります。



5月7日より遠隔授業で始業

全学生の7割以上が寮生のため、学生の移動や上島町民への安全を配慮して、遠隔で授業を再開しています。本校学生は、マイクロソフト社のOffice365ライセンスが無償提供されており、そのいくつかのソフトを用いて遠隔授業が実施されています。

かみじま郷土話 1

上島町での思い出



私の故郷、和歌山県紀美野町 山々に囲まれた「陸の孤島」です。

曾根 大地
教育課

私が上島町で暮らし始めてから、2年が経過しました。上島町では、私が来る以前から「弓削島庄総合調査」が数年にわたって継続して行われていたため、私もその調査に途中から加わることとなりました。調査では、島を歩き回って島中に点在する石造物を調べたり、スコップで地面を掘って、昔の人が海の近くに造った塩田を見つけたり、各地区の詳しい歴史を知るために町に昔から住まれている方々のお話を聞くなど、これまで幅広い分野に渡る仕事をさせていただきました。

私はこの町で暮らし始める以前に、弓削島に一度だけ訪れたことがありました。学生だった頃、塩の庄園として有名だった弓削島庄の歴史を学習するためでした。久司山展望台に登って上島諸島や尾道の風景を一望したことや、製塩土器づくり体験をしたことは、楽しい旅の記憶です。芸予諸島の離島に降り立ったのはこの旅の時から初めてで、自然が豊かな素敵な町だと感じました。また実際に弓削島を訪れたことによって、中世に生きた人々が、島にある山から燃料を補給し、海水から塩を取り出し、瀬戸内海を渡って東寺に塩を届けたのだらうという、自然と一体となって暮らしていた様子を想像することができました。

今後は、広報の紙面をお借りして、日々の調査で学んだことや、歴史に関するお話を少しずつ発信させていただきます。よろしくお願いいたします。

島おこし協力隊活動報告

ミッションは「移住・定住促進、空き家対策」

はじめまして、「広報かみじま」に初めて寄稿させていただきます。令和2年4月から上島町「島おこし協力隊」として勤務させていただくことになりました。私たちの活動のミッションは、「移住・定住促進、空き家対策」です。どうぞよろしくお願いいたします。

上島町の人口は、令和元年度に改定された「上島町人口ビジョン」によれば、昭和25年に1万5,552人でピークを迎えましたが、以降ほぼ一貫して右肩下がり減少し続け、平成31年には6,903人でした。町内の空き家については、平成31年度に策定された「上島町空き家等対策計画」によれば、概要調査を実施した約8,270棟のうち1,102棟が空き家の状態にあると判断され

ました。調査対象の約13.3%が空き家であったということになります。前出の「人口ビジョン」では2045年の町の人口を、「子育て支援の充実や若者世代の定住促進、産業の活性化などに寄与する様々な施策を展開すること」によって、4,692人と展望しています。ただこの推計値を実現するためには、実効性のある様々な施策を着実に積み上げていく必要があります。

活動を始めるにあたって、活動計画を立てています。移住を支援し移住者の定着を促すことで人口の減少に歯止めをかけ、空き家の利活用を図っていくために私たちは、町内の自治会組織、町民活動、企業と、どのような施策に協働して取り組んでいくことができるの

でしょうか。新型コロナウイルス感染症の影響もありますが、これから町民の皆様にご相談させていただくことができれば、と考えています。



退勤後、よく遠回りして帰ります

島おこし協力隊
平田 浩司